

### ハイチ地震の現状

●大谷派 京都光華女子  
 大学短期大学部(一郷正  
 道学長、京都市右京区)  
 のライフデザイン学科と  
 こども保育学科は、二十  
 二日、一般公開の講義  
 「救える命があればどこ  
 へでも」AMDAの活動  
 を通して考えるいのち

岡山市)は、災害や紛争  
 時に医療・保健衛生の緊  
 急支援を行なうなど、人  
 道的国際貢献に取り組ん  
 でいる団体。世界の三十  
 カ国に支部を持つ▽成澤  
 氏は、ハイチ共和国で現  
 地時間の十二日夕刻に発  
 生した大地震の緊急援助  
 の様子を、スライドを上  
 映しながら報告した。A  
 MDAは十五日に、日本  
 とカナダから第一次チ  
 ムを派遣。二十日に菅波  
 代表らが第二次チームと  
 して現地入りした。引き  
 続きカナダ、コロンビア

ランスを直撃し、電気や  
 水道のインフラも大きな  
 被害を受けた。統治機構  
 が脆弱な国柄も災いし  
 て、地震から一週間たっ  
 ても外科的な第一処置を  
 受けられなかった被災者  
 が多く、症状を悪化させ  
 て手足を切断せざるを得  
 ないケースが増えている  
 という▽成澤氏は「地震  
 といえば、阪神・淡路大  
 震災の時を思い出す。ど  
 んな状況になっても、希  
 望を見いだすことが大  
 切。国の内外を問わず、  
 被災者には『あなたのご  
 とを忘れていない。私は  
 あなたを必要としている』  
 というメッセージを  
 届けていきたい」と話し  
 た。

」を開い  
 た。講師  
 は、NPO  
 法人AMDA  
 ボランティア  
 センター  
 事務局長  
 の成澤貴子  
 氏写真。  
 AMDA  
 (菅波茂代  
 表、本部・

